



7/23～8/12

米ミッドランド市の高校生3名が半田市でホームステイ体験をしました



半田市と米ミッドランド市は、友好親善、若者の国際感覚の醸成を目的に、姉妹都市提携の翌年(1982年)から高校生の相互派遣事業を実施しており、半田市はこれまで49名の高校生を受け入れました。

7月23日(木)から8月12日(水)の3週間、ミッドランド市の高校生3名がホームステイで市内に滞在し、市内外の文化施設の見学や市内高校生との交流会等を通じて、半田市の魅力や日本の文化を体験しました。

ホームステイを体験した生徒は「自分の殻を破り、新しい様々なことにチャレンジしたことで、人間的に成長できた。人生を変えるような、素晴らしい経験に感謝している。」と話し、ホストファミリーは「日本人だから当然知っていると思っていた文化や習慣にも、実は深い意味や背景があることに気づかされると同時に、改めて日本の良さ、文化の奥深さを感じることができた。」と話してくれました。



▲半田市滞在中の様子



▲ミッドランド交換生徒写真集

8/8

「トリプル末広がり」の日に婚姻お祝い特別企画を開催しました



令和8年8月8日、「トリプル末広がり」の縁起の良い日に、半田市役所で、特別な婚姻お祝い企画が開催されました。半田市に婚姻届やパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓を提出した先着8組のカップルに、はちみつを含む8品のお祝い品が手渡され、幸せな門出を祝いました。

市役所1階の市民ロビーには特設のフォトブースが設けられ、プロのカメラマンが撮影を行い、笑顔あふれる幸せな空間となっていました。

8/19

「親子で参加!摘果体験」が開催されました



大きく甘い果実を残すために間引く作業である「摘果」について知ってほしいという思いから、半田農業高校の生徒たちが企画しました。市内小中学生の親子10組が参加し、高校の農場で摘果を体験しました。体験の後には、高校で摘果したみかんを使用し、黒牛の里と商品開発したシャーベットの試食も行われました。企画した高校生からは「摘果について知ってもらうことができ嬉しい」という声が聞かれました。